

# 相談支援だより

群馬県立太田特別支援学校  
第1号 令和2年6月

## ご家庭や学級で、気になる行動が見られませんか？

臨時休校や分散登園・登校など、通常とは異なる毎日が続き、新しい環境に対して不安を感じたり戸惑ったりするお子さんがいるかもしれません。現在の特別な状況を加味してみても、ご家庭や園・学校で気になる行動が見られましたら、かかわり方を変えてみましょう。気になる行動の例や考えられる行動の背景、そして、かかわり方の例を紹介します。

### 気になる行動の例

- 集中力が続かない。
- 順番を待てない。
- 授業中席を立てしまう。
- 皆と一緒に行動できない。
- 必要以上におしゃべりをする。
- 話を最後まで聞くことが難しい。
- 乱暴な行為をしてしまう。
- ルールを守ることができない。



### 考えられる行動の背景

- 活動に興味をもてない。
- 何をやってよいかわからない。
- 周りのことが気になり、気が散ってしまう。
- あいまいな表現がわからない。
- 周りの状況や相手の気持ちを察することができない。
- 気持ちのコントロールが難しい。など



## かかわり方のポイント ～いくつかの例を紹介します～

### ルールや順番は「見える化」でわかりやすく

紙芝居やイラスト、マーク、手順表などでわかりやすく伝え、できたらほめて次へとつなげる。時には、ルールと一緒に決めたり本人に決めさせたりしてもよい。

### 刺激が少ない落ち着いた環境作り

見えるものや聞こえるものからの刺激を受けやすい場合には、掲示物や装飾が少ない環境を整える。大事な話をするときは、注目をさせてから「3つ話をします。」

「2つ準備する物があります。」などポイントを押さえて伝える。

### 気持ちをコントロールする方法を考える

気持ちのコントロールが難しい子には、がまんする方法や気持ちを切り替える方法を一緒に考える。落ち着いてから気持ちを振り返り、どうすればよいか、どう伝えればよいかを具体的に伝える。



<参考文献>

- ・西東社 「発達障害の子どもの心と行動がわかる本」
- ・池田書店「発達障害の子をサポートする『気になる子』の保育事例集」



<お気軽にご相談ください>

群馬県立太田特別支援学校  
専門アドバイザー 武田久美子  
TEL:0276-32-3939 FAX:0276-32-4224  
E-mail : k-takeda@edu-g.ssn.ed.jp